



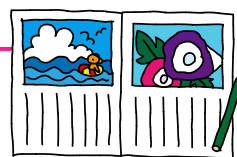
明日より夏休み 1学期もありがとうございました

本日、1学期の終業式を挙行し、明日より夏休みを迎えます。長い夏休みの間に、子どもたちには、新しい発見や感動に満ちた時間を過ごしてほしいと思っています。毎年よく似た話になってしまうのですが、そんな願いをこめたメッセージを、終業式の中で子どもたちに伝えました。(下記、「終業式にて～児童への話～」) 2学期には、さらに成長したまみっ子に会えるのを、職員一同、楽しみにしております。

あらためまして、保護者のみなさま、地域みなさまにおかれましては、この1学期にも、本校教育の推進に多大なるお力添えをいただきました。本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。



終業式にて～児童への話～



今日で1学期が終わります。4月からの約4ヶ月間、みなさんは勉強、運動、そして友だちとの学校生活、本当によくがんばりましたね。ここで少し、自分の「手のひら」を見てみてください。この1学期、みなさんはこの手でたくさんの文字を書き、たくさんの本をめくり、鉄棒やボールを握り、友だちと拍手を送り合ってきました。今、みなさんの手のひらには、目には見えないけれど「がんばった証拠」がぎゅっと詰まっています。1学期をやりきった自分に、心の中で「よくがんばったね」と拍手をしてあげてほしいと思います。



明日からはいよいよ夏休みです。今年はなんと45日間という、長い夏休みが始まります。この夏休み、校長先生はみなさんに、ある「作戦」を実行してほしいと思っています。それは、「自分だけの【宝探し】に出かける」という作戦です。もちろん、本当の海賊の宝箱を探すわけではありません。校長先生が言った「宝物」とは「自分が夢中になれること」や「新しくできるようになったこと」という意味です。学校がある日は、時間割が決まっていますね。でも、夏休みは自分で自由に使える時間がたっぷりあります。つまり、何を勉強するかや何にチャレンジするかを、自分で決める、あるいはおうちの人と相談して決めるという特別な時間です。「今まで読んだことがない、厚い本を読み切ってみる」「大好きな虫や植物のことを、とことん調べて博士になってみる」「ギターの実習のように、何か楽器や新しい技を毎日少しずつ練習してみる」「お家の人もビックリするような、かっこいい料理を作れるようになる」など、どんなことでもかまいません。「やってみたい!」と心がワクワクすることを見つけて、自分で決めて、一歩を踏み出してみてください。夏休みが終わるころ、みなさんがどんな「宝物」を見つけて帰ってくるか、校長先生は今から楽しみで仕方がありません。

ただし、楽しい宝探しを最後まで続けるためには、絶対に守らなければならない「たった一つのルール」があります。何だと思いませんか。それは、「自分の【命】という一番の宝物を、絶対に守り抜くこと」です。川や海での水の事故、道路での交通安全、そして熱中症。危ないことには近づかず、自分の命をしっかりと守ってください。絶対に約束してください。みなさんが元気に笑顔で2学期を迎えてくれることが、校長先生の一番の願いです。

時間の使い方をしっかり決めて、ほんの少しだけでも新しい自分に出会う。そんなワクワクする夏休みになるといいですね。9月の始業式、一回りたくましくなったみなさんと元気に挨拶を交わせることを楽しみにしています。これで、校長先生のお話を終わります。



終業式の後、さっそく「〇〇に挑戦するわ!」と声をかけてくれる子どもがいて、とても嬉しかったです。応援しています!!

